

開講開始年度	2021
授業コード	1RB1130
担当教員	門馬 博
科目	情報処理論
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療専門職を目指す大学生として基礎となる「情報の収集(検索)」と「発信(レポートやプレゼンテーション)」についての方法を学ぶ。また、オンライン授業に必要な各種ツールの使用方法についても演習を通じて学び、大学における学びの基礎を築く。</p> <p>データサイエンスについて、演習以外の内容は、オンデマンドを併用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>① << 学位授与方針との関連 >></p> <p>(3)コミュニケーション能力 チーム医療の担い手として、多職種との円滑なコミュニケーションができる。</p> <p>(4)問題解決能力 知識と技術を融合させ、問題を解決できる。</p> <p><< 一般目標(GIO) >></p> <p>コンピューターを使用して、正確で新しい情報の収集・整理、ならびに伝達するのに必要な基本的技術を身に付けることを目的とする。</p> <p><< 個別目標(SBOs) >></p> <p>① 正確な情報を検索し収集することができる。</p> <p>② 情報を整理し、グラフ、表を活用して、わかりやすい形式で表現することができる。</p> <p>③ 必要な情報を集約し、わかりやすく説明することができる。</p> <p>④ データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することが出来る。</p>
授業計画	<p>⑥ *** <担当教員> ***</p> <p>門馬 博</p> <p>オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.講義およびLMS(Learning Management System)概要、レポート課題1の説明、情報の検索方法[講義・演習・質疑応答]</p> <p>講義全体の流れ、および授業の管理に用いる Microsoft Teams の概要と使用方法を説明する。また様々な情報の検索手法について演習を通じて学び、課題レポート作成にとりかかる。</p> <p>2.情報を収集、記録する(MS Word の使い方)[講義・演習・質疑応答・active learning]</p> <p>レポート作成に用いる MS Word の操作方法に関する説明とレポート作成。</p> <p>3-4.情報を収集、記録する(レポート・論文の作成方法)[active learning]</p> <p>提示したテーマに沿ったレポートを各自作成する。不明な点については逐次補足説明を行う。</p> <p>5.レポート課題2の説明、伝え方の工夫(MS Excel 関数を使った表計算とグラフ作成)[講義・演習・質疑応答]</p> <p>各種統計データを参考にしながら、プレゼンテーションの基礎となるグラフの作成手法を学ぶ。</p> <p>6.情報を整理する(MS Excel と MS Powerpoint を用いたプレゼンテーション①)[講義・演習・質疑応答・active learning]</p>

	<p>Excel と Powerpoint の操作方法を簡単に説明し、各自関心のある領域に関する情報を収集する。</p> <p>7-9.情報を伝達する(プレゼンテーションスライド作成①～④)[active learning]</p> <p>各自関心のあるテーマに沿ったプレゼンテーションを行うためのスライド作成を行う。</p> <p>10.プレゼンテーション[プレゼンテーション・質疑応答]</p> <p>全員が自身の作成したスライドを用いて 1 名あたり 5 分のプレゼンテーション動画の撮影を行う。</p> <p>11-15.データサイエンスの基礎(オンデマンド形式)</p> <p>オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。</p> <p>視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義]</p> <p>社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義]</p> <p>AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義]</p> <p>データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義]</p> <p>データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義]</p> <p>データや AI の利活用と留意点について</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、teams 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具 体的内容と必要な 標準的な時間</p>	<p>1.予習:自分が「理学療法士を志した理由」について、自身に関する情報を整理する。 復習:課題レポートを作成する。 (予習:60 分、復習:60 分)</p> <p>2.予習:テキストを読み、レポートと論文の構成要素について学習する。 復習:課題レポートを作成する。 (予習:60 分、復習:60 分)</p> <p>3-5.予習:インターネット上の情報を参考にしながら自身のレポートテーマに関する情報を整理する。 復習:課題レポートを作成する。 (予習としての情報収集:合計 120 分・復習としての授業外課題作成:合計 360 分)</p> <p>6.予習:Excel の操作方法を各自の到達度に応じて事前に学習する。 復習:課題レポートを作成する。 (予習:60 分、復習:60 分)</p> <p>7-10.予習:インターネット上の情報を参考にしながら自身のレポートテーマに関する情報を整理する。 復習:発表用スライド・プレゼンテーション動画を作成する。 (予習としての情報収集:合計 120 分・復習としての授業外課題作成:合計 360 分)</p> <p>11-15.予習: 下記テキストの各章を予習し、視聴後ノートを完成する。 復習:授業内容について更に調べ資料に記載する。 (予習としての情報収集:合計 120 分・復習としての授業外課題作成:合計 360 分)</p> <p>※授業外学習時間は 60 時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
<p>テキスト</p>	<p>ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方(石井一成著、ISBN:978-4816350573、ナツメ社)</p> <p>データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p>

参考書	理学療法白書 2019(日本理学療法士協会、ISBN:978-4866540320、ガイアブックス)
⑦ 成績評価の方法・ 基準	定期試験実施:無 再試験実施:無 成績評価方法:レポート課題 (50%)、プレゼンテーション(25%)、オンデマンド確認試験(25%)
URL	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の使用規約を遵守すること。 ・本講義は教員による講義主体の授業ではなく、課題に沿って学生が能動的に学ぶ形態(active learning 形式)を中心に行う。 ・教員は主にファシリテーターとして学生の能動的学習を支援する。 ・コンピューターの使用法、課題に向けた情報収集など、授業内、授業外を問わず、積極的に周囲の学生と相互に情報交換を図りながら課題に臨むこと。 <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:有 実務経験に係る保有資格(勤務年数5年以上):理学療法士、認定理学療法士(学校教育)</p> <p>実務経験をいかした教育内容:これまでに科目責任者が経験してきた臨床経験と学術活動の経験を活かしながら、入学間もない初年次の学生に対して能動的に学ぶ学習姿勢を身に付けさせつつ知識面での early exposureを図る。</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1RA1510
担当教員	出嶋 靖志
科目	公衆衛生学 I
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講 I では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。社会保障論・地域包括ケアシステムの理解についても学ぶ。なお、この科目は第一種衛生管理者免許資格取得のための要件なので、労働衛生の観点からも適宜解説する予定である。
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>(2)問題解決能力 自ら発見した問題や課題について、科学的かつ客観的に説明を加え、論理的に問題を解決できる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 公衆衛生学の基本的技術論、方法論について理解する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①公衆衛生学、疫学の基本概念について理解する。</p> <p>②年齢階層や、社会的機能集団の各次元それぞれの特質に合わせた取り組みについて理解する。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 出嶋 靖志</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.地域社会と公衆衛生[講義・小テスト・質疑応答] 健康の概念、公衆衛生学の概念、予防医学の考え方について、その歴史的背景もふまえて学ぶ。</p> <p>2.疫学的なものの捉え方とは[講義・小テスト・質疑応答] 疫学の考え方、疫学指標、危険度(相対危険度、寄与危険度、オッズ比)について理解する。</p> <p>3.人口統計からみた地域と世界[講義・小テスト・質疑応答] 人口静態統計、人口指標、人口ピラミッド、高齢化と少子化について、地域・世界を比較して学ぶ。</p> <p>4.地域における保健栄養学的課題[講義・質疑応答] 国民健康栄養調査、食糧需給表などから食習慣、栄養摂取状況などについて学ぶ。</p> <p>5.地域と福祉[講義・質疑応答] 福祉・介護制度の概要、介護保険、介護保険サービスの基礎的事項を理解する。</p> <p>6.母子保健[講義・質疑応答] 母子保健の課題、母子保健事業などについて学ぶとともに、国の施策や法案についても理解する。</p> <p>7.学校保健[講義・質疑応答] 学校保健の概要について理解し、学校保健統計調査、学校感染症についても学ぶ。</p> <p>8.身近な遺伝問題と健康[講義・質疑応答]</p>

	<p>身近な遺伝問題と健康のかかわりについて理解するための、基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>9.精神保健[講義・質疑応答]</p> <p>ストレス、ストレスマネジメント、精神疾患・自殺の現状や予防対策について理解する。</p> <p>10.生活習慣病予防の取り組み[講義・質疑応答]</p> <p>主な生活習慣病の特徴、統計、その現状や予防について学ぶ。</p> <p>11.地域における環境課題[講義・質疑応答]</p> <p>公害や地球的規模の環境問題について、基礎的事項を理解する。</p> <p>12.産業保健学概論[講義・質疑応答]</p> <p>労働衛生の基礎的事項、労働安全衛生対策、特定健康診査・特定保健指導などについて学ぶ。</p> <p>13.地域保健[講義・質疑応答]</p> <p>保健所、地域保健センターなど、地域レベルでの保健対策について理解する。</p> <p>14.保健統計 1[講義・小テスト・質疑応答]</p> <p>人口動態統計の概要、出生、死亡に関するさまざまな指標やデータについて学ぶ。</p> <p>15.保健統計 2[講義・小テスト・質疑応答]</p> <p>国民生活基礎調査、患者調査などの傷病統計の概要とデータについて理解する。</p> <p>★フィードバック方法:小テストのフィードバックは講義時間内に行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間	<p>1-14.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読む。</p> <p>15.予習:これまでの授業内容を復習する。</p> <p>※1-15.復習:習った内容を自分なりにまとめる。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は45分必要とする。</p> <p>※公衆衛生学の領域は多岐にわたっており、断片的な学習となることが懸念される。当日講義予定の項目は、事前に教科書で予備的な知識を得るために十分に予習を行うこと。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	「衛生学・公衆衛生学第2版」(鈴木・高坂・出嶋・笹澤 共著)ISBN:978-4-263-24169-1 医歯薬出版
参考書	「国民衛生の動向」厚生統計協会
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:小テスト(40%)、最終レポート(60%)</p>
URL	
備考	<p>※テキストは毎年、修正・更新されているので、必ず最新の17刷を購入すること。最新版は大学の教科書販売で入手できる。ただし、他の授業で購入済みの場合は新たに買い直す必要は無い。</p> <p>※授業をZoomで行う場合は、学生の通信環境が様々であることを考慮して、録画してオンデマンドで見られるようにするので、授業に参加できなかった場合は録画を見ておくこと。</p> <p>※UNIPAによる情報配信に注意すること。</p> <p>第1種衛生管理者免許資格科目</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1RB1510
担当教員	出嶋 靖志
科目	公衆衛生学 I
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講 I では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。社会保障論・地域包括ケアシステムの理解についても学ぶ。なお、この科目は第一種衛生管理者免許資格取得のための要件なので、労働衛生の観点からも適宜解説する予定である。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>(4)問題解決能力 自ら発見した問題や課題について、科学的かつ客観的に説明を加え、論理的に問題を解決できる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 公衆衛生学の基本的技術論、方法論について理解する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①公衆衛生学、疫学の基本概念について理解する。</p> <p>②年齢階層や、社会的機能集団の各次元それぞれの特質に合わせた取り組みについて理解する。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 出嶋 靖志</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.地域社会と公衆衛生[講義・小テスト・質疑応答] 健康の概念、公衆衛生学の概念、予防医学の考え方について、その歴史的背景もふまえて学ぶ。</p> <p>2.疫学的なものの捉え方とは[講義・小テスト・質疑応答] 疫学の考え方、疫学指標、危険度(相対危険度、寄与危険度、オッズ比)について理解する。</p> <p>3.人口統計からみた地域と世界[講義・小テスト・質疑応答] 人口静態統計、人口指標、人口ピラミッド、高齢化と少子化について、地域・世界を比較して学ぶ。</p> <p>4.地域における保健栄養学的課題[講義・質疑応答] 国民健康栄養調査、食糧需給表などから食習慣、栄養摂取状況などについて学ぶ。</p> <p>5.地域と福祉[講義・質疑応答] 福祉・介護制度の概要、介護保険、介護保険サービスの基礎的事項を理解する。</p> <p>6.母子保健[講義・質疑応答] 母子保健の課題、母子保健事業などについて学ぶとともに、国の施策や法案についても理解する。</p> <p>7.学校保健[講義・質疑応答] 学校保健の概要について理解し、学校保健統計調査、学校感染症についても学ぶ。</p>

	<p>8.身近な遺伝問題と健康[講義・質疑応答] 身近な遺伝問題と健康のかかわりについて理解するための、基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>9.精神保健[講義・質疑応答] ストレス、ストレスマネジメント、精神疾患・自殺の現状や予防対策について理解する。</p> <p>10.生活習慣病予防の取り組み[講義・質疑応答] 主な生活習慣病の特徴、統計、その現状や予防について学ぶ。</p> <p>11.地域における環境課題[講義・質疑応答] 公害や地球的規模の環境問題について、基礎的事項を理解する。</p> <p>12.産業保健学概論[講義・質疑応答] 労働衛生の基礎的事項、労働安全衛生対策、特定健康診査・特定保健指導などについて学ぶ。</p> <p>13.地域保健[講義・質疑応答] 保健所、地域保健センターなど、地域レベルでの保健対策について理解する。</p> <p>14.保健統計 1[講義・小テスト・質疑応答] 人口動態統計の概要、出生、死亡に関するさまざまな指標やデータについて学ぶ。</p> <p>15.保健統計 2[講義・小テスト・質疑応答] 国民生活基礎調査、患者調査などの傷病統計の概要とデータについて理解する。</p> <p>★フィードバック方法:小テストのフィードバックは講義時間内に行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間	<p>1-14.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読む。</p> <p>15.予習:これまでの授業内容を復習する。</p> <p>※1-15.復習:習った内容を自分なりにまとめる。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は45分必要とする。</p> <p>※公衆衛生学の領域は多岐にわたっており、断片的な学習となることが懸念される。当日講義予定の項目は、事前に教科書で予備的な知識を得るために十分に予習を行うこと。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	「衛生学・公衆衛生学第2版」(鈴木・高坂・出嶋・笹澤 共著)ISBN:978-4-263-24169-1 医歯薬出版
参考書	「国民衛生の動向」 厚生統計協会
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:小テスト(40%)、最終レポート(60%)</p>
URL	
備考	<p>※テキストは毎年、修正・更新されているので、必ず最新の17刷を購入すること。最新版は大学の教科書販売で入手できる。ただし、他の授業で購入済みの場合は新たに買い直す必要は無い。</p> <p>※授業をZoomで行う場合は、学生の通信環境が様々であることを考慮して、録画してオンデマンドで見られるようにするので、授業に参加できなかった場合は録画を見ておくこと。</p> <p>※UNIPAによる情報配信に注意すること。</p> <p>第1種衛生管理者免許資格科目 ≪実務経験のある教員による授業科目≫</p>

	科目代表教員の実務経験有無:無
--	-----------------